

**2022 年度 海洋教育パイオニアスクールプログラム
学習指導案**

『100年後の海へ ～わたしたちに、今できること～』

1. 目的

海は、私たちが生きていくうえでなくてはならない存在である。しかし、今その海が海洋汚染によって変化しはじめている。「未来に豊かな海を残したい」そのような思いから、海洋汚染の原因と解決策を探究し「環境にやさしいライフスタイル」を選択できる能力を養い「わたしたちにできること」を発信できるようになる。

2. 単元

- 1) 保健体育科 高校2年生保健3単元「社会生活と健康」【学習時間約10時間】
- 2) 特別活動の時間 ※公欠扱いとなり「出前授業」・「研究発表」に参加

4. 対象

高校2年生 約80名 ※代表5名が海洋プログラムチームとして郊外活動に参加

5. 協力校

守口市立佐太小学校 4年生 ・ 阪南市立尾崎小学校 4年生

6. 協力団体

- ・ NPO 法人環境教育技術振興会／NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター
岩井克巳氏
- ・ 阪南市漁業組合
- ・ 株式会社 Muffin Top 島袋 優子先生
- ・ 海藻おしばくらぶ 河原美也子先生 スタッフ 前田先生

7. 評価基準

- 知識・技能
- 思考・判断・表現
- 主体的に学習に取り組む態度

8. 使用教材

iPad

ロイロノート

パワーポイント

教科書「現代高等保健体育」

副教材「現代高等保健体育ノート」

9. 単元内容

◇保健体育科 高校2年生保健3単元「社会生活と健康」【学習時間約10時間】

1) 指導計画

時数	内容
1	① 大気汚染と健康
2	② 水質汚濁・土壌と健康
3	③ 健康被害の防止と環境対策
4	④ グループワーク (1) ～ 探究テーマの見つけ方 ～
5	⑤ グループワーク (2) ～ 調べ学習 ～
6	⑤ グループワーク (2) ～ 調べ学習 ～
7	⑤ グループワーク (2) ～ 調べ学習 ～
8	⑤ グループワーク (2) ～ 調べ学習 ～
9	⑥ 海洋教育 ～ 発表 ～
10	⑥ 海洋教育 ～ 発表 ～

2) 学習目標

①環境問題について理解を深める 【①②③】

海洋汚染の原因は、国連海洋法条約の定義で6つに分類されている。その中の「陸からの汚染」「投棄による汚染」「大気からの汚染」について知識を高め、海洋汚染の原因が、私たちの生活と密接に関わっていることを理解し、日々の心がけ一つで未来に「豊かな海」を届けることができることを理解する。

②海洋汚染を防ぐためにできることを探究する 【④⑤】

海洋汚染に対する取り組みについて調べ「私たちにできること」を提案し検証する。その結果をもとに「環境にやさしい」ライフスタイルを選択できるようになる。

③SDG s について理解を深める 【④⑤】

持続可能な社会の実現に向けて、地球が抱える問題を「自分ごと」「日本ごと」「世界ごと」と捉えることができるようになる。

④グループワークを通じて海洋環境保全の取り組みが身近であることを理解し、問題解決能力やプレゼンテーション能力の向上を図る。【④⑤⑥】

◇啓発活動 「出前授業」の実施・海洋サミットへの参加・海の魅力を伝える活動を実施

内容：「海」の魅力を発信し、「海」を守りたい仲間を増やす 大阪湾 ～アマモ場再生～

1) 指導計画

時数	内容
1	<p>海を守る仲間を増やすプログラム 『大阪湾ってどんな海?』【出前授業①】</p> <p>場 所：守口市佐太小学校</p> <p>内 容：</p> <p>1. つながってみよう【10分】 大阪湾はどこにあるの?・大阪湾にはどんなお魚がいるの?【15分】</p> <p>2. アマモってなあに【15分】 アマモの役割・北陽高校の活動・これからの学びについて</p>
2	<p>海を守る仲間を増やすプログラム 『大阪湾ってどんな海?』【出前授業②】</p> <p>場 所：阪南市西鳥取漁港</p> <p>協力校：守口市立佐太小学校4年生</p> <p>協力団体：NPO 法人環境教育技術振興会 NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター 岩井克巳氏 阪南市漁業組合</p> <p>内 容：</p> <p>1. ビーチクリーン 漂着ゴミを集める【15分】・分別【10分】・ゴミの数と種類【15分】</p> <p>2. 地引網【約1時間】 アマモ場に住む生き物を調査する</p>

3	<p>海を守る仲間を増やすプログラム 『大阪湾を豊かな海へ』【出前授業③】</p> <p>場 所：守口市佐太小学校</p> <p>内 容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 海洋実習の事後学習【15分】 佐太小学校からの質問に答える。 ①ゴミはどこからきたのかな？ ②アオサとアマモの違い 2. 海からの贈り物 「海藻万華鏡作り」【1時間】 海藻おしばくらぶ 河原美也子先生 スタッフ 前田先生 3. みんなが大好きな大阪湾を未来に届ける方法を考えてみよう【15分】
4	<p>全国アマモサミット2022in たてやま 2022年10月28.29.30日開催 〈豊かな自然環境を未来へ〉 【海辺の自然再生・高校生サミット①】参加</p>
5	<p>「聞き書き甲子園」について学ぶ</p> <p>場 所：阪南市立尾崎小学校</p> <p>協力校：阪南市立尾崎小学校5年生</p> <p>協力団体：NPO 法人環境教育技術振興会 NPO 法人大阪湾沿岸域環境創造研究センター 岩井克巳氏 阪南市漁業組合 NPO 法人共存の森ネットワーク 吉野 奈保子氏</p> <p>内 容：先人の知恵を未来に継承する活動「聞き書き甲子園」【90分】 「聞き書き甲子園」とは、高校生が、森や海・川の「名人」を訪ね、その知恵や技術、ものの考え方や人となりを「聞き書き」し記録する活動です。「名人」には、樵（きこり）や造林手、炭焼き、漁師や海女など、さまざまな職種があり、インタビューを行いながら「名人」の価値観や想いを受け止めていきます。今回の活動は、阪南市の漁業組合から漁師さんが参加してくださいました。尾崎小学校の皆さんと一緒に大阪湾の魅力、大阪湾が豊かになってきていること学びました。 「名人」のお話は、森や海・川の自然と、暮らしとのつながり、そこに生きる人から直接学ぶことができる素敵な活動です。</p>

6	<p>海を守る仲間を増やすプログラム 『大阪湾を豊かな海へ』【出前授業④】</p> <p>場 所：守口市佐太小学校</p> <p>内 容：</p> <p>1. 佐太小学校 「総合学習発表会」【40分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①浄水場見学（水はどこから） ②スーパーのふくろは1分間に何メートルとぶのか？ ③学校でのごみひろい ④北陽高校出前授業（あまもについて） ⑤西鳥取漁港で地引網 ⑥西鳥取漁港でビーチクリーン ⑦マイクロプラスチックは西鳥取漁港の砂浜にもあるのか？ ⑧淀川かせんじきごみひろい ⑨「ぎょぎょと魚釣り」 <p>9つのテーマで発表。海に興味を持ち、海のために「行動宣言」をする。</p>
7	<p>全国アマモサミット2022in たてやま 2022年10月28.29.30日開催</p> <p>〈豊かな自然環境を未来へ〉</p> <p>【海辺の自然再生・高校生サミット①】参加</p>
8	<p>第10回せんなん里海さくらフェス 2023年3月19日</p> <ul style="list-style-type: none"> ①【リレートーク】参加 ②『海藻万華鏡』作り指導 ※海の魅力を伝える活動 ③パフォーマンス ※創作ダンス部協力『ほっといたらあかん、大阪湾』ダンス